

里山保全活動

～四日市市少年自然の家にて～

四日市市立小学校 9 校

四日市市立中学校 4 校



ね
ら
い

- ・ 里山は人間が利用することで維持されていて、その結果、たくさんの生きものを育んできたことを理解する。
- ・ 伐採作業を実践することで里山保全の大切さをより深く理解する。

はじめに、子どもたちは、講師から里山についてのお話を聞きました。里山は、人の生活の中でどのように利用されてきたか、生活様式の変化によって、里山の環境がどのように変化しているのかを聞きました。そして、里山を守るためにはどのようにすればよいかを考えました。

次に、四日市市少年自然の家の里山に入って、常緑樹を伐採し、薪にするために 30 cm の長さに切りそろえる体験をしました。

この活動を通して、子どもたちは、里山保全の大切さについて理解を深めることが出来ました。



プログラム概要

内容	・ 里山のお話 ・ 伐採作業
時間	2 ～ 3 時間
場所	四日市市少年自然の家
対象	(全て四日市市立) 大矢知興譲小学校 5 年生 137 人 小山田小学校 5 年生 34 人 桜台小学校 5 年生 41 人 中央小学校 5 年生 26 人 富洲原小学校 5 年生 90 人 三重小学校 5 年生 67 人 三重西小学校 5 年生 62 人 四郷小学校 5 年生 74 人 橋北小学校 5 年生 35 人 楠中学校 1 年生 126 人 桜中学校 1 年生 127 人 塩浜中学校 1 年生 41 人 港中学校 1 年生 88 人
講師	・ 四日市市少年自然の家 ・ 桐生定巳氏